

木もれ陽

第277号

5月19日:元気塾で八方ヶ原を訪ねた際、
路傍に咲いていた、可憐な黄色い花
花の名前は…?

2026.7.1

泉公民館

〒329-2504 矢板市泉 526

TEL: 0287-43-0402

いずみ元気塾

5月19日(火)、毎年恒例となりました「いずみ元気塾」による八方ヶ原ごみ拾いを実施しました。

今年は活動範囲を広げ、神秘的な青さが魅力の「おしらじの滝」まで足を延ばしました。新緑がまぶしい初夏の風を感じながら、周辺の清掃活動を行いました。その後は「山の駅たかはら」へ戻り、周辺の遊歩道を中心に、自然の美しさを守るためのごみ拾いに汗を流しました。

当日は天候にも恵まれ、現地へ向かうバスの車窓からは、生命力あふれるみずみずしい新緑の絶景を楽しむことができました。

作業中、訪れていた観光客の皆様から「お疲れ様です!」と温かいお声がけをいただき、参加したメンバーも元気よく挨拶を交わすなど、清々しい交流が生まれました。

美しい自然と、そこを訪れる人々との触れ合い。心身ともにリフレッシュし、地域と自然を大切にする意識を改めて共有できた一日となりました。

ご参加いただいた皆様、本当にお疲れ様でした!



泉地区高齢者学級

5月20日(水)、「泉地区高齢者学級」開講式を開催いたしました。当日は「いこいず」との共催で総勢41名の皆様にご参加いただき、会場は笑顔と活気に満ち溢れていました。

開講を記念した秋^{しゅうほう}鵬民謡会の皆様による尺八と民謡では、日本の伝統的な尺八の音色に合わせた歌声に耳を傾け、贅沢なひとときを楽しむことができました。



また、泉駐在所の亀山^{かずひろ}一拓様から「警察官をかたる詐欺」の実例を交えて、わかりやすく防犯講話をしていただきました。参加者一同、防犯意識をより一層高める貴重な機会となりました。

今年度は全7回、皆様と学び交流できる場づくりに取り組んでまいります。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。これからの活動もどうぞお楽しみに!

なお、泉地区高齢者学級では仲間を随時募集しています。ご興味のある方は、お気軽に泉公民館までお問い合わせください!

おさんぽクラブやいた

5月29日(金)、好天に恵まれる中「おさんぽクラブやいた」を開催いたしました。

今回は、古の歴史が色濃く残る寺山観音寺を起点とし、長坂の石地藏・牛石・根津智地藏を巡るコースを歩きました。

寺山観音寺では、ご住職のご厚意により本堂内部へご案内いただき、お寺にまつわる貴重なお話を伺うことができました。また、各ポイントでは「やいた語り部の会」の皆様から、石地藏や牛石にまつわる興味深いお話をし



ていただき、参加者の皆様は思いを馳せながら、古の歴史に浸るひと時を過ごしました。道中では風もありましたが、参加者同士の会話も弾み、心温まる交流の場となりました。ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



次回は秋の開催を予定しております。季節の移ろいを感じながら、また皆様とお散歩できることを楽しみにしております!

資源ごみの分別回収のご協力お願い!!

- ペットボトル
- アルミ缶
- 食品トレイ
- 牛乳パック
- 一升瓶
- 新聞紙
- 雑誌・段ボール

【ペットボトル】

底につなぎ目のないのがペットボトルです。底に線のあるものはペットボトルではありません。キャップ、口金を取り除く、中を水洗いする。足で踏み潰す。

【アルミ缶】

中を水洗いして、資源ごみとして出します。スプレー缶やカセットボンベは対象外(不燃ごみ)です。

**粗大ごみ・発泡スチロール・
卵パックは回収不可です。**

矢板市生活環境局 HP より

集落支援員えんどうの泉わくわく日記

矢板市集落支援員3年目、泉地区担当の遠藤です。「木もれ陽」に日々の活動を連載させていただくことになりました。「集落支援員」とは、地域の巡回・状況把握を行い、行政区や地域の団体などのお困りごとと一緒に解決に向けて動く地域のサポーターです。

栃木県では現在9名の集落支援員が活動しています。そのうち矢板市では3名が「矢板ふるさと支援センターTAKIBI」を拠点に地域の様々な場所へ出向き、収集した情報を行政など必要な部署へつないだり、市の広報やSNSで発信し、地域の取り組みを多くの方に知ってもらったりしています。

先日は大江川の「生き物調査」に参加しました。これは「水の郷泉を守る会」のみなさんが20年前から実施しているもので、泉小学校の5年生の総合的な学習の時間に行ったものです。コミュニティスクールの皆さんも参加してくださいました。

子どもたちが川に入り、網を使って川底をすくうと、ザリガニ、貝やタニシ、ヤゴ、カニ、エビ、どじょうなどをびっくりするくらいたくさん見つけることができました。

学校のすぐ隣に自然観察ができる環境があり、地域の方たちの協力で子どもたちが安心して川に入れること、この活動が20年続いていることで泉地区の豊かな自然が守られていることに、あらためて「泉っていいところだなあ」と感じました。

遠藤優美（えんどうゆみ）

市総合政策課所属 集落支援員

PTA活動を通して学校と地域のつながりに関心を持ち、地元の自治会運営や主任児童委員を経験

好きなこと：夏の甲子園・箱根駅伝

これからも泉の魅力を発信していきますので、ぜひ「矢板ふるさと支援センターTAKIBI」に情報お寄せください。

(TEL 0287-47-7017)



いずみ・時の旅

■矢板の万里の長城



今から丁度5年前のことでした。U字工事が司会をしているテレビ番組で、高原山を紹介するコーナーがあり、何とそのガイド役を私目が担当することとなり

ました。とにかく、相手は栃木を代表する有名人、これはもう“地”で行くしかないと心に決め、収録日を迎えました。

当然、事前にディレクターと打ち合わせがありましたが、いざ本番になるとそんなことはお構いなし、アドリブでどんどん攻めて来ました。それで、この高原山中には明治の後半に造成された土塁が50kmにわたって遺されています、と話した瞬間に「そりゃー矢板の万里の長城だわ」と益子さんが発したのです。なるほど、さすがプロ、うまい表現をするなど感心してしまいました。

そこで、今回はその万里の長城の紹介をすることと致しましょう。この土塁とは、馬が逃げ出せないように牧場の周囲を囲ったものです。何しろ牧場の面積が東西合せて5,000haもあったものですから、この位の距離になったという訳です。この牧場というのは、軍馬を育成するために造られたものです。日清日露という二つの大戦を経験した我が国は、軍馬の育成は急務であるとして、全国に牧場を造ることとしました。この高原山中は高地であり、しかも大半が官有地であったことから最適地とされました。そして明治37年に、現在の県民の森事務所付近に「白河軍馬補充部泉出張所」が建てられ、その2年後に造成工事が開始されました。

この出張所には、軍人の他獣医や牧手など13名が勤務しておりました。また、この場所は泉村管内であったために、郵便局は泉の取り扱いとなりました。ところが、この出張所には夜間に電報が届くことがあったそうです。こんな時には一人で提灯を頼りに徒歩で届けたとのことでした。

さて、この土塁跡は今でも高原山中のあちこちに遺されています。一度これらを訪ね歩くイベントを実施してみたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

郷土史家：白石

●編集後記

梅雨とは言え、日差しに力強さを感じる季節となりました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

これから本格的な夏本番を迎えますが、熱中症や体調管理にはくれぐれもご留意ください。

暑さで体力が奪われやすいこの時期、田畑仕事もほどほどに、木陰で涼む時間も大切です。

特に気温の高い日は、室内でも熱中症のリスクが高まります。エアコンの適切な利用やこまめな水分摂取と塩分補給など、どうか油断せずにお過ごしください。



木もれ陽ホームページへ



泉公民館

〒329-2504 矢板市泉 526

TEL 0287-43-0402